

宮沢地区公民館だより



令和4年6月1日
発行：宮沢地区公民館
電話・FAX22-0433

翁山の春山登山はじまる(やまがた百名山)



これまで40年にわたり活動を続けてきた「翁山を愛する会」が、今年3月に解散しました。令和元年6月9日翁山の山開き登山の時は、参加者から「たけのこ汁がふるまわれ、忘れられない。」とお礼の手紙をいただきました。今年からは、合同登山は実施しませんので各自で自由に登山を楽しんで下さるようお願いいたします。

◆「翁山を愛する会の40年間」展示

6月6日(月)～6月30日(木) 宮沢地区公民館 8:30～17:00

翁山の安全祈願祭

一年を通して登山と山の恵みに感謝します

△日時 6月5日(日) 午前7時30分～

△場所 宮沢地区公民館の駐車場

主催：振興連絡協議会

翁山の案内図を掲載

尾花沢市のホームページ「登山情報」をご覧ください。

案内図マップ、地区公民館にもあります。



宮沢小 開校10年目



「花いっぱい咲花草」運動

6月4日(土) 定植作業 (宮沢小前)

午前5時30分～ 約1時間

ベゴニヤ・マリーゴールド・ブルーサルビア

「バツタリ」の始動
(獅子齋し) 5月17日
山刀伐峠の入口



今年もきれいに
おきな草が咲きました。

おきな茶屋 ヨガ教室

6月8日(水) / 6月22日(水)

時間：10:00～11:00

場所：宮沢地域福祉交流センター

参加費：500円

持ち物：ヨガマット

(なければバスタオル)

※感染症拡大予防のため、体調の優れない方の参加はご遠慮願います。

おきな茶屋が7月から始まります。
詳しくは、15日号のチラシで参加
申込みを受付します。

さわやかあいさつ運動

5月11日(水)に宮沢小学校で、今年度1回目のさわやかあいさつ運動が行われました。

登校した児童と「おはようございます。」元気にあいさつを交わしました。

さわやかあいさつ運動は、夏休みを除く5月から11月まで月に1回、児童の登校時間に合わせて行われます。



ふるさと物語 ① 「宮沢」の由来

現在の私たちの地区は尾花沢市宮沢と呼ばれている。昭和29年(1954)、他の4ヶ町村と合併して尾花沢町になるまでは「宮沢村」で独立した自治体であった。明治22年(1889)明治政府は行政の大改革を行い全国に町村制を敷いた。これまでの県の下に郡を置き、その下に町や村を置いたのである。それまでは現在の集落が村と呼ばれていたが規模が小さく自治体とは言えなかった。例えば明治9年創立の関谷学校(高橋小の前身)は高橋村外6ヶ村^{れんりつ}聯立と記されている。

新しい「村」は山や川などの地理面と歴史的面も考慮して境界とし、自治体機能が可能な規模に拡大した。村の名称は地元任せになったが当村では有力者が、順徳上皇潜行伝説(江戸時代の出羽風土略記など)から御所宮の「宮」と、古文書に出てくる当地東部の地名「出羽ノ國小田島ノ庄横澤郷」から「澤」を採り、合せて「宮澤村」と名付けたと言う。小田島ノ庄とは現在の北村山に当たる広範囲の地名だった。そして「宮」は現在でも正蔵の字名に「宮原」がある。「横澤」も東照寺山号に「横澤山」として残っている。

「澤」の呼び名は沢を流れる清流をイメージし「さわ」で「ざわ」と濁らない。ちなみに友好地区の大崎市の宮沢地区は「みやざわ」である。また隣の旧玉野村は「続日本記」に出てくる大野東人の蝦夷征討(737)の駅家「玉野」から採ったという。(玉野村史)

文責 宮沢地区歴史保存会 三浦 幹雄

【6月の行事予定】

日	時間	内容
4日(土)	5:30	フラワーロード「定植作業」
5日(日)	7:30	翁山安全祈願祭
9日(木)	7:40	さわやかあいさつ運動



宮沢地区の人口と世帯

(5/1現在)(前月比)

男 835人 (-4)

女 840人 (-5)

計 1675人 (-9)

世帯数 598世帯 (-1)